


平成29年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績1

事業者	団体名	アモーレ鳥取ボヌッチの会	代表	大黒 進
事業内容	助成事業名	弓場徹(声楽)・松浦ふさ代(チェロ)ジョイントコンサート		
	事業目的	イタリアと鳥取の親善交流と鳥取の音楽文化の興隆を目的とする。 		
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弓場徹(テノール)と松浦ふさ代(チェロ)の共演</li> <li>・松浦ふさ代のチェロ演奏</li> <li>・弓場徹のトークを交えた歌唱</li> </ul>		
	実施場所	とろぎん文化会館 小ホール	実施日	平成29年10月8日(日)
	対象者	一般市民	参加人数	247人
	事業の成果	低料金で鳥取の皆さまに音楽を楽しんでいただくことができ、アモーレ鳥取ボヌッチの会(イタリアの会)の活動を通じた鳥取とイタリアの音楽交流に資する演奏会となった。		
	今後の活動の展望	本会の名の由来となっているが、イタリアからロドルフォ・ボヌッチ氏(ヴァイオリニスト)を招聘してボヌッチコンサートの実施を検討したい。		
費用	総事業費	652,101円	助成金額	200,000円

平成29年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績2

事業者	団体名	特定非営利活動法人 ハーモニカレッジ	会長	星見 安鶴子
事業内容	助成事業名	コソダテゼミナール		
	事業目的	子どもが育つ環境には家庭や学校だけでなく、多世代とつながれる場が重要である。第4回目となるコソダテゼミナールは規模を拡大し、子どもを持つ家庭だけでなく、地域住民・若者・様々な事業者が関わることのできる事業とし、より多くの市民と共に子育て環境について考え、興味関心をもってもらい、市民でつくる新たな子育て支援の創出を目的とする。		
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの冒険遊び場(プレイパーク)</li> <li>・馬との交流(ふれあい乗馬、コミュニケーション体験)</li> <li>・人との交流(地域で暮らし働く人との交流)</li> <li>・語り場</li> </ul> 		
	実施場所	空山ポニー牧場(鳥取市越路752-1)	実施日	平成29年10月7日(土)
	対象者	一般市民	参加人数	約245人 (うち子ども126名)
	事業の成果	<p>子どもの冒険遊び場では、子どもたちが多世代との関わりを楽しむことや子ども自ら遊びを創出する楽しさを体験してもらうことができ、また大人にはその重要性を感じてもらえる機会となった。馬との触れ合いを通じて、生き物への思いやりを育む機会を提供することができ、このような体験は人とのコミュニケーション能力の向上にもつながることが期待される。出店ブースでは農業者や地産地消に配慮した飲食店の方々に出店してもらうことにより、参加者が多様な方々との出会い、地元の自然な食、その取り組みについて肌で感じてもらう機会となった。今回のコソダテゼミナールは、多世代、地域の方々との場を設けることで、賑わいに溢れた安心して暮らせるまちづくりへつなげていくことを一つの目的としていたが、モノづくり体験や語り合う場を設けたことで、普段関わることの少ない多世代、地域の方々との交流を十分に図ることができた。子育て世代の人々・若者・地域住民・事業者それぞれが子どもの育つ環境を見つめ直す機会となった。</p>		
	今後の活動の展望	<p>今後もより多くの人の子育て環境に関心を持つことができるようコソダテゼミナールを継続して実施し、子どもの遊び場や多世代が集える場の重要性を広く発信していきたい。将来的には地域全体で子育てができる具体的なアクションプランを作成し、鳥取市から発信する県との協働事業が提案できるまで発展することを目指して今後の活動に取り組んでいきたい。</p>		
費用	総事業費	253,540円	助成金額	200,000円



平成29年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績3

事業者	団体名	困り感を抱える子を支援する親の会/らっきょうの花	代表者	桑田 弥生
事業内容	助成事業名	らっきょうの花 設立10周年記念フォーラム		
	事業目的	発達障がい児者、不登校・ひきこもりで苦しむ当事者やその家族への正しい理解の啓発を目的とする。		
	事業の内容	<p>一部 講演  「発達障がいの子どもを発達的主人公にー同化圧力に負けないでー」  講師 鳥取大学地域学部教授 三木裕和氏  「不登校だった二男の社会復帰について」  講師 社会福祉士・精神保健福祉士 笹森理絵氏</p> <p>二部 シンポジウム  話題提供①「輝け！ 青年期～18歳以降も学び続けることを実現するためには～」  話題提供②「福祉事業型専攻科エコールKOBEBEに長男を通わせて」</p> 		
	実施場所	県立福祉人材研修センター 2階 中研修室	実施日	平成29年9月2日(土)
	対象者	発達障がい児者、不登校・ひきこもりで苦しむ当事者やその家族	参加人数	約120人
	事業の成果	参加者は保護者が多かったが、それ以外にも大学教授、支援者、地域の方々等多方面から多くの方に参加してもらえ、正しい理解の啓発につながった。日々の実践から青年期らしさを大切にす支援のあり方など発達保障に造詣が深い講師からの具体的な話はとても参考になり、また発達障がい当事者でありその家族でもある方に講演してもらうことによつて、発達障がい等で苦しむ当事者やその家族への理解がより深まった。		
	今後の活動の展望	今回の事業実施により、知的障害のある発達障がい児者への視点も盛り込んだ正しい理解の啓発や支援が必要であること、またニーズがあることが分かったため、今後は発達障がい児者のみではなく幅広く啓発や支援を行っていく。今後も今まで以上に他の団体とも連携し、正しい理解の啓発・支援を行っていきたいと考えている。		
費用	総事業費	177,705円	助成金額	136,000円

平成29年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績4

事業者	団体名	鳥取県東部手話サークル連絡協議会	会長	坂尻 恭子
事業内容	助成事業名	手話落語講演会		
	事業目的	聴覚障がいに対する理解の促進と手話の普及を目的とする。広く市民に呼びかけ、楽しみながら手話での壱をみることで手話を身近に感じてもらう。手話への興味・関心につながる機会とする。		
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デフー氏による手話落語</li> <li>・デフー氏と谷千春氏(専属手話通訳者)によるトークショー</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
	実施場所	さざんか会館5階 大会議室	実施日	平成29年4月23日(日)
	対象者	一般市民	参加人数	約125人
	事業の成果	<p>アンケート調査を実施したところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習っていた手話もあり、もっと手話を知りたくなった。</li> <li>・手話の素晴らしさを学ぶことができ、楽しめた。</li> <li>・手話の勉強をして、また参加したい。</li> <li>・来年、再来年と継続してほしい。</li> </ul> <p>などの意見が多数あった。手話への関心が深まっていると実感している。</p>		
	今後の活動の展望	手話に触れ合ったり学べる機会を今後も計画し実施していきたい。		
費用	総事業費	201,616円	助成金額	139,000円